

平成28年度「119番通報の多様化に関する検討会」の開催

防災情報室

1 概要

聴覚・言語機能障がい者等に対応した119番通報について、いつでも全国どこからでも、音声によらない通報ができるシステムの技術的条件仕様等の検討を行い、そのシステムを確立することにより、聴覚・言語機能障がい者等の安心・安全及び利便性の一層の向上を図ることを目的として、平成27年度に引き続き「119番通報の多様化に関する検討会（以下「検討会」という）」を発足し、去る10月12日に第1回検討会を開催しました。

平成28年度「119番通報の多様化に関する検討会」委員名簿

【座長】（敬称略・五十音順）

加納 貞彦 早稲田大学名誉教授

【委員】

浅利 靖 北里大学医学部救命救急医学教授
 石井夏生利 筑波大学図書館情報メディア系准教授
 小川 光彦 一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会情報文化部長
 酒井 英男 埼玉西部消防局警防部指令第一課長
 高松 益樹 全国消防長会事業部長
 中西久美子 一般財団法人全日本ろうあ連盟理事
 早坂 俊裕 東京消防庁総務部情報通信課長
 前田 洋一 一般社団法人情報通信技術委員会代表理事専務理事

2 検討項目

今年度の検討会は、昨年度の検討会での検討結果を踏まえ、主に次の項目について検討し、実運用を見据えた実験システムを構築し技術的検証を行います。

- (1) 事前登録の仕組み等
事前登録情報の保管先、利用申請方法
- (2) サービス提供形態
想定されるサービス提供形態に基づく共通電文（プロトコル、シーケンス、電文フォーマット等）や責任分界点等
- (3) 通報時に対応できるシステム要件
通報集中時におけるサーバ要件や消防本部端末及び

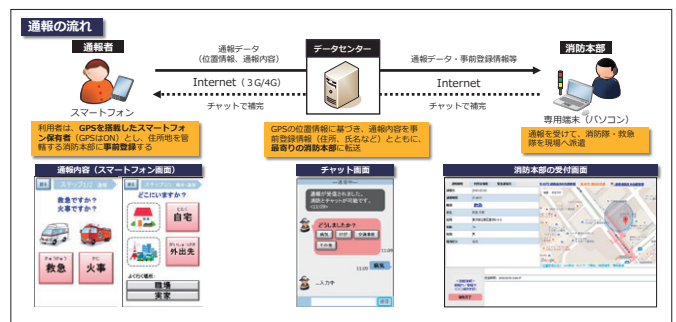
通報者端末のインターフェースの機能要件

(4) 非機能要件

システムに求める各種要求水準（可用性、性能・拡張性、セキュリティ等要件）

(5) 利用者の拡大の可能性

システム利用者を訪日外国人へ拡大する可否



システムのイメージ（第1回検討会資料抜粋）

3 第1回検討会の内容

第1回検討会では、検討の進め方及び上記検討項目について、事務局から説明が行われ、今後の方向性等について検討が行われました。

4 今後のスケジュール

今年度は5回程度の検討会を開催し、今後、全国の消防本部においてシステムを円滑に導入できるよう、技術的条件仕様を含め最終報告として取りまとめる予定です。



第1回検討会の様子

問合わせ先

消防庁国民保護防災部・防災課防災情報室
 TEL: 03-5253-7526 FAX: 03-5253-7536